

草津市の健幸都市づくり



本編の結びに

草津市の健幸都市づくりは、平成 28 (2016) 年 8 月 28 日の健幸都市くさつキックオフシンポジウムにおいて、私が地域(まちづくり協議会)と合同で「健幸都市くさつ」を宣言し(→22頁)、市内の企業・団体等にも同宣言に賛同いただいたところから始まりました。

その後、平成 29 (2017) 年 3 月に策定した市の最上位計画(まちづくりの指針)である「第 5 次草津市総合計画 第 3 期基本計画」において、まちづくりを先導・けん引する 4 つのリーディング・プロジェクトの一つとして「健幸都市づくりの推進」を掲げるとともに、「草津市健幸都市基本計画(計画年次:平成 29(2017)年度から令和 4 (2022)年度)」を策定し、同計画に基づいて、健幸都市づくりに関する様々な取組を、市民の皆さまとともに進めています。

令和 3 (2021) 年 3 月には、新たに「第 6 次草津市総合計画(構想期間:令和 3 (2021)年度から令和 14 (2032) 年度)」を策定し、市の将来ビジョンに「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」を掲げ、全ての施策に共通する基本的な方向性として、「健幸都市づくり」を視点とした事業展開を目指すこととしました。

将来に描くまちの姿として「健幸都市」ではなく、あえて「健幸創造都市」としたのは、草津市に住む人、訪れる人、誰もが健康で生きがいをもち、健やかで幸せに暮らすことができるまちを、市民の皆さまとともに創り上げていきたいという思いからです。

この「草津市健幸都市づくり基本方針」は、先の「草津市健幸都市基本計画」に代わり、市が進める健幸都市づくりに関する指針として、また、市民の皆さまとともに「健幸になれるまち」を創り上げていくため、一人でも多くの方に共感いただけるよう、分かりやすさを重視して「くさつ健幸ガイドブック」として作成しました。

明るい草津の未来のため、「健幸都市くさつ」をともに創ってまいりましょう。

令和 5 (2023) 年 3 月
草津市長 橋川 渉

草津市健幸都市宣言

生涯にわたって心も体も健やかで幸せに過ごせること

これはわたしたち共通の願いです

心身の健康には 自分の状態を知ること 適度な運動と休養

バランスのとれた食事など 一人ひとりの取組が大切です

美しい自然や 住みやすい都市環境も大切です

そして ともに住む人と人との絆や協働も大切です

くさつは いにしえから 東海道と中山道がまじわる交通の要衝

宿場町として栄えてきました

人と人が出会い 心と体を休め 旅の疲れを癒してきました

琵琶湖・田園などの豊かな自然環境もあり そこから得られる

恵みも豊富です

今を生きるわたしたちも この地で 出会いと自然に感謝しながら

住み続け 訪れることで 健幸になれるまちを

ともに創造していきましょう

草津市は 生涯にわたって 一人ひとりが自らの健康を大切に

ともに支え合い ここに暮らすことによって

絆や喜びが生まれ 幸せが感じられる

笑顔あふれるまちを目指して

ここに「健幸都市くさつ」を宣言します

平成28（2016）年8月28日

草津市長 橋川 渉